

日曜日礼拝順序

2019年10月13日 午前11時 南部チャペル

前奏	鈴木義兄
頌栄	539
開会の祈り	Scroggins 由紀牧師
主の祈り	一同
讚美	賛美歌90番 “ここもかみの みくになれば”
祈りの時	Scroggins 由紀牧師
聖書拝読	一同
	創世記24章10-27節
讚美	賛美歌354番 “牧主、わが主よ、まよう我らを”
説教	“主の備えと出会い” Scroggins 由紀牧師
讚美	賛美歌312番 “いつくしみ深き 友なるイエスは”
献金	加納幸子姉
報告	
頌栄	541
祝福	Scroggins 由紀牧師
後奏	鈴木義兄

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

光の会 午前9時45分

憩いの場

“神による慰め”

“悲しんでいる人たちは、さいわいである。彼らは慰められるであろう。”
(マタイによる福音書5章4節)

秋になり、青い空が一面に広がるようになりました。さわやかな季節は収穫の時期でもあり、おなじみのパンプキンが店頭や家の前に並ぶようになりました。私は秋になると神の備えを思い出します。備えというと、収穫のように物質的なものもありますが、慰め、という霊的、精神的な領域の備えは素晴らしい恵みです。マタイによる福音書には、悲しんでいる人たちは幸いである、彼らは慰められるであろう、という主イエスのみことばが書かれています。この悲しみということばは、嘆き悲しむという意味で、決して軽いものではありません。現代社会に生きる人々は、こういった悲しみについて、あまり考えたくないと思うあまりに、語ることを避ける傾向にあるようです。ひとつは、この世が競争社会であり、また、あまりに安手の慰めがたくさん満ち溢れているからでしょう。会社の競争相手には弱みを見せてもらえず、悲しむ人たちの立場を利用して商売をしている人たちにも注意が必要です。

しかし、私たちが愛する神は、悲しんでいるときに、必ず手を差し伸べてくださいます。神に心を開き、その慰めを受け取る時、神のご臨在をより深く知る恵みも同時に与えられます。そして時間と共に、悲しみがやわらぎ、癒されていることを知るでしょう。私自身も聖書からのみ言葉はもちろん、人との出会いや交流、本、映画、様々なメディアを通して、神が慰めの神であることを表してくださった経験があります。時間がたった後、単に自分で乗り越えたのではない、神がともに居てくださったという感慨が残りました。悲しみ、嘆きの中にある方に、主の慰め、ご臨在がともにありますようにお祈りします。(Scroggins 由紀)

記事: 消息

— 陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、下竹寛子姉、Chieko Dano 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。また新しく発足されました光の会に神の祝福がありますようにお祈りください。

— 先週の日曜日は礼拝後、荒井久和子姉、加納幸子姉、坂田淑姉の手作りのランチと下竹由美子姉によるデザートを美味しくいただきました。婦人会の方々のご足労に感謝いたします。

お知らせ

— 毎週日曜日、午前9時45分より、南部チャペルにて、“光の会”と題して朝のさわやかな光の中で、対話と祈りをもって気軽に集う会を設けております。キリスト教に興味がある方、教会をしばらく離れている方、祈りを必要とされている方、どうぞご参加ください。

— 10月6日から11月24日の間、Care for Real (コミュニティーの貧困層を援助する団体) に毎年、感謝祭の季節に届けられる、缶詰や乾燥食品の寄付を募っております。寄付の食品をいれる箱は、Welcome Center に用意されます。どうぞご協力ください。

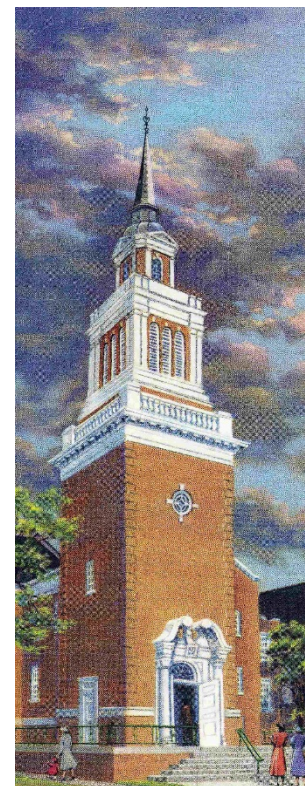
今週の讃美: How Great Is Our God

https://www.youtube.com/watch?time_continue=100&v=KBD18rsVJHk

発行: 2019年10月9日 ノースショアバプテスト教会日本語部

スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)

電話: 773-728-4200



週報

第3741号

2019年10月13日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: www.northshorebaptist.org